

議員派遣結果報告書

1	名 称	関係人口関係者向け勉強会（セミナー） 関係人口とともにつくる『にぎやかな過疎』
2	場 所	大栄農村環境改善センター 2階 大会議室
3	期 間	令和7年12月16日（火） 1日間
4	内容・成果	<p>① 講演</p> <p>演題 関係人口とともにつくる『にぎやかな過疎』</p> <p>講師 小田切 徳美 教授（明治大学農学部食料環境政策学科地域ガバナンス論研究室）</p> <p>要旨 関係人口の実態</p> <p>関係人口の量的実態と分布、「関係人口チャート」と多様な関わり方。</p> <p>関係人口の課題と政策対応</p> <p>関係人口を地域づくりに活かすための3つの課題と対応策が示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見える化 ふるさと住民登録制度（2006年12月頃開始予定）と既存の取組みの接続が北栄町の場合課題。 ・関係性持続化 就職・結婚等で離れても関係性を維持。ふるさと納税の進化 産品購入で終わらせず、関係の階段を登ってもらう工夫。 ・ごちゃまぜ化 関係人口が地域住民と混ざるためには地域内の3世代が混ざる必要がある。 <p>関係人口とともにつくる地域の未来</p> <p>先進地事例：飛騨市「ヒダスケ」の紹介。</p> <p>まとめ</p> <p>にぎやかな過疎と人材育成、教育との連携が必要。</p> <p>② 質疑応答と意見交換会（秋山の私見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の自治会（集落）単位の活動と、ここで議論されている関係人口の話にズレを感じる。 <p>（二層構造で地域活動を捉える必要がある。自治会単位と旧小学校区単位）とか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口、関係人口と定住人口をどう位置づけるのか。